

平成23年度 第1回 太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
中央水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し（平成23年8月～12月）のポイント

海況

潮岬以東の黒潮は、8月～9月はN型基調（※1）で推移し、10月以降はB・C型（※1）となる。
沿岸水温は、潮岬以西が「平常並」（※2）～「高め」で小蛇行の東進時に変動、熊野灘～遠州灘～伊豆諸島北部海域が「平常並」～「低め」で暖水波及時に「高め」、鹿島灘～常磐南部海域が「平常並」～「高め」で推移する。

- ※1 N型：非大蛇行接岸流路（流路の南端が北緯33度以北）
B型：非大蛇行接岸流路（流路の南端が北緯32度以北かつ33度以南）
C型：非大蛇行離岸流路
- ※2 平常並＝平常値±0.5℃程度、
高め＝平常値+1.5℃程度、低め＝平常値-1.5℃程度

漁況（来遊量予測）

マサバ・ゴマサバ

2歳魚は前年を上回る。

マアジ

0歳魚主体の海域が多く、低調に推移する。

マイワシ

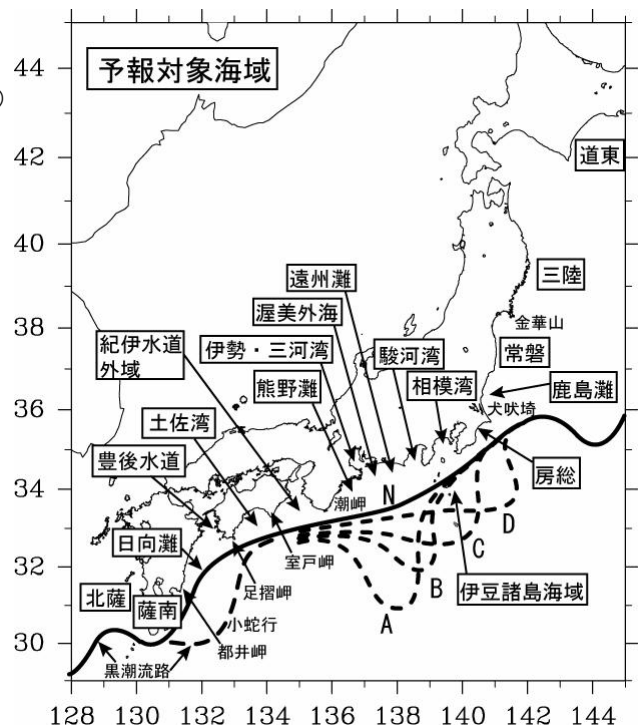
全体として前年を上回る。

カタクチイワシ

全体として前年並か下回る。

ウルメイワシ

全体として前年を上回る。



問い合わせ先

水産庁 増殖推進部 漁場資源課

担当：沿岸資源班 新村、内海

電話：03-3502-8111（内線6800）、直通電話：03-6744-2377、ファックス：03-3592-0759

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/>

（予報の詳細についてのお問い合わせ先）

独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 業務推進部

担当：市橋、生田

電話：045-788-7615、ファックス：045-788-5001

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://nrifs.fra.affrc.go.jp/>

中央ブロック海況予報

今後の見通し（2011（平成23）年8月～12月）

(1) 黒潮（注：黒潮流型は図1を参照のこと。）

◎潮岬以西

- ・都井岬沖では、8月前半と10月に接岸傾向、8月後半と11月には小蛇行の形成により離岸傾向となる。
- ・足摺岬沖～潮岬沖では、概ね接岸傾向であるが、9月～10月と12月～1月には、都井岬沖の小蛇行の東進に伴い離岸傾向となる。

◎潮岬以東

- ・8月～9月はN型基調で推移し、10月以降はB・C型となる。
- ・野島崎沖では、流型変動に伴い離接岸がみられる。

(2) 薩南～房総沿岸域

- ・潮岬以西では、黒潮の離接岸に伴って暖水が波及することがある。
- ・潮岬以東では、熊野灘～遠州灘～伊豆諸島北部海域は、概ね冷水域に入る。黒潮流路の変動に伴い、内側域へ一時的に暖水が波及する。
- ・伊豆諸島南部海域は、概ね黒潮より南の暖水域に入る。10月以降は、黒潮流路の変動に伴い冷水域に入ることがある。

(3) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・沿岸域へ暖水が波及することがある。冷水の波及は弱い。

(4) 沿岸水温

- ・潮岬以西は「平年並」～「高め」で推移する。小蛇行の東進に伴い変動する。
- ・熊野灘～遠州灘～伊豆諸島北部海域は、「平年並」～「低め」で推移する。暖水波及時には「高め」となる。
- ・伊豆諸島南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。黒潮流路がC型になったときは、「平年並」～「低め」となる。
- ・房総沿岸は、概ね「平年並」で推移し、黒潮接岸時に「高め」となる。
- ・鹿島灘～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。

※ 平年並み＝平年値±0.5℃程度、（やや高め、やや低め）＝平年値±1.0℃程度、

（高め、低め）＝平年値±1.5℃程度、（極めて高め、極めて低め）＝平年値±2.5℃以上

経過 (2011年1月～7月) (注：経過は図2を参照のこと。)

(1) 黒潮

- ・12月下旬、C型からN型になった。
- ・2月中旬にB型、3月中旬にC型、4月中旬にD型になった。
- ・5月上旬、N型になった。
- ・5月中旬、B型になり、5月下旬、C型になった。
- ・6月中旬以降、N型で推移した。

(2) 薩南～房総沿岸域

◎薩南海域

- ・12月～2月、黒潮北縁は屋久島南付近の平均的な位置で推移した。
- ・3月、黒潮北縁は接岸傾向で推移した。
- ・4月～5月、黒潮北縁は屋久島南付近の平均的な位置で推移した。
- ・6月、黒潮北縁は離岸傾向で推移した。

◎潮岬以西

- ・11月中旬～2月中旬、都井岬沖に小蛇行が存在し、離岸傾向となった。
- ・1月中旬～2月上旬、小蛇行の一部が東進し、足摺岬～潮岬を通過した。
- ・2月中旬～4月上旬、小蛇行が東進し、足摺岬～潮岬を通過した。
- ・2月下旬、都井岬沖では黒潮が接岸した。
- ・3月下旬～4月中旬、都井岬沖に小蛇行が存在し、離岸傾向となった。
- ・4月中旬～5月上旬、小蛇行が東進し、足摺岬～潮岬を通過した。
- ・4月下旬～5月中旬、都井岬沖では黒潮が接岸した。
- ・5月中旬、都井岬沖に小蛇行が存在し、6月～7月、足摺岬～潮岬を東進した。

◎潮岬以東

- ・1月上旬、遠州灘～伊豆諸島北部に暖水が波及した。
- ・2月上旬～3月上旬、黒潮がB型になり、遠州灘～伊豆諸島北部海域に暖水が波及した。
- ・4月上旬～5月上旬、遠州灘～伊豆諸島北部海域は概ね冷水域に入っていた。
- ・5月下旬、黒潮がB型からC型に移行するのに伴い、駿河湾～相模湾に暖水が波及した。
- ・1月～6月、熊野灘では、暖水の弱い波及が見られたものの、概ね冷水域に入っていた。
- ・1月以降、伊豆諸島南部海域は概ね黒潮の南の暖水域に入っていたが、3月中旬、4月上旬、5月下旬には黒潮は八丈島の南に位置した。
- ・野島埼沖での黒潮は、1月上旬の接岸傾向から2月上中旬の離岸傾向、3月上中旬の接岸傾向へと推移した。3月下旬以降は、5月下旬に接岸傾向となった以外は、概ね離岸傾向で推移していた。

(3) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・1月上旬、沖合域を中心に北方から冷水が波及した。
- ・1月下旬～2月、全域に冷水が波及した。
- ・3月上旬、沿岸域に暖水が波及したが、沖合域は冷水の影響が残った。
- ・3月下旬～5月、全域に強く暖水が波及した。
- ・6月上旬～7月上旬、暖水が波及したが、5月に比べて影響は弱まった。

現況 (2011年07月20日現在)

(1) 黒潮

- ・ N型流路で推移している。

(2) 薩南～房総沿岸域

◎薩南海域

- ・ 黒潮北縁は屋久島南付近の平均的な位置で推移している。

◎潮岬以西

- ・ 黒潮は、都井岬で「やや離岸」、足摺岬～潮岬で「接岸」している。

◎潮岬以東

- ・ 熊野灘～遠州灘は概ね冷水域に入っている。
- ・ 伊豆諸島北部海域～相模湾に暖水の波及が見られる。
- ・ 伊豆諸島南部海域は黒潮の南に位置している。
- ・ 野島埼沖で黒潮はやや離岸している。

(3) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・ 犬吠埼東の黒潮は離岸している。
- ・ 沖合域に暖水が波及している。

※ 黒潮の離接岸に関する語句表記は、川合英夫(1972)：海洋物理Ⅱ、東海大学出版会に準じた。

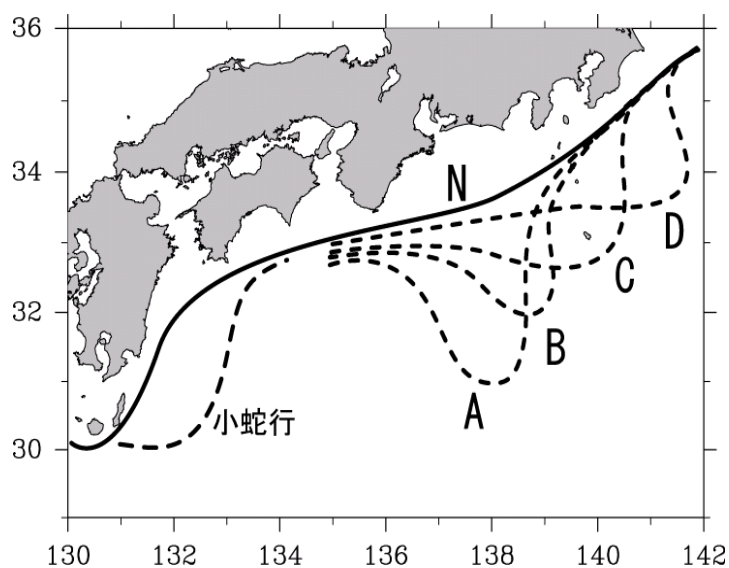


図1 黒潮流型の分類

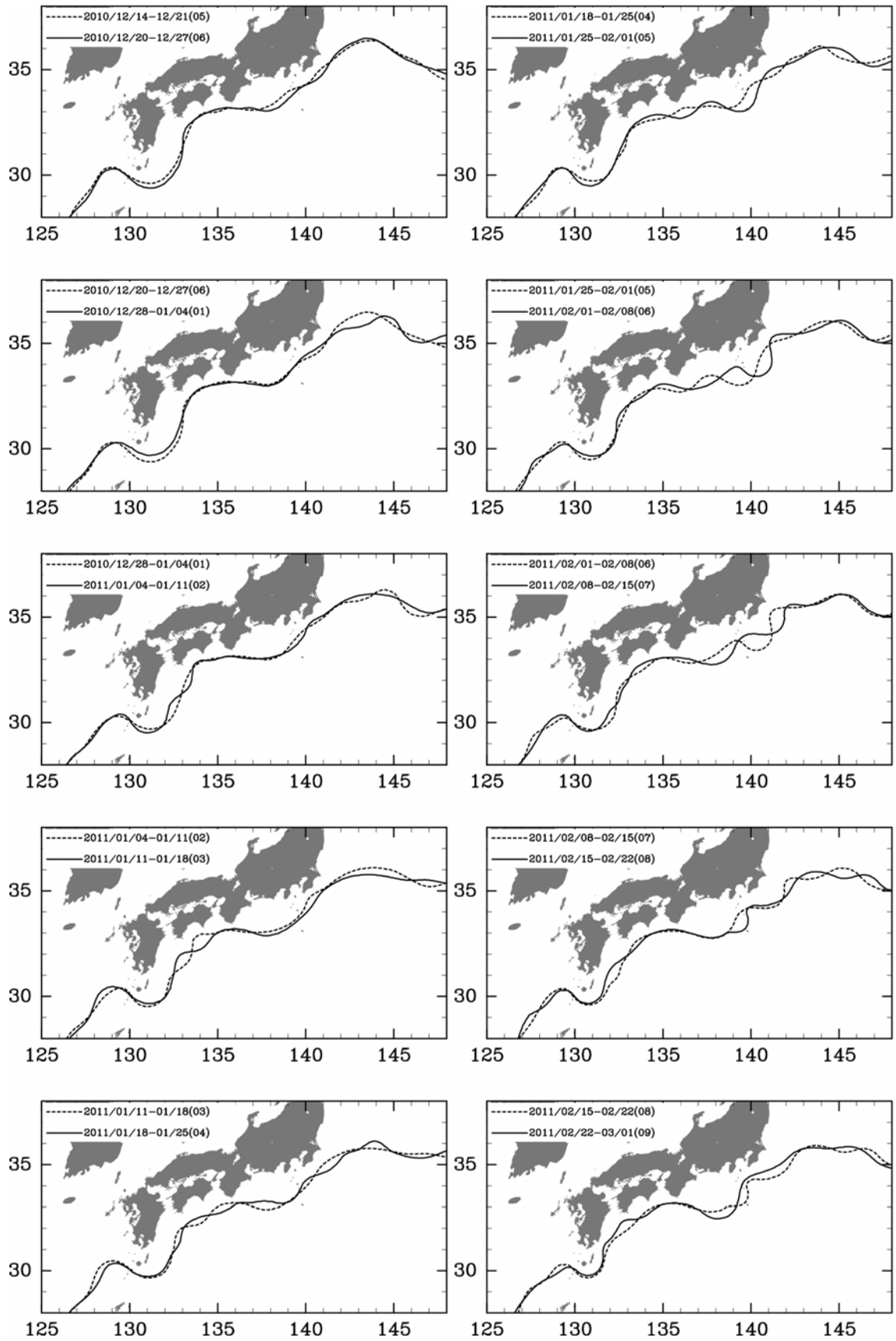


図2 黒潮流軸のパターン

(2010年12月～2011年7月，海上保安庁海洋情報部海洋速報より作成)

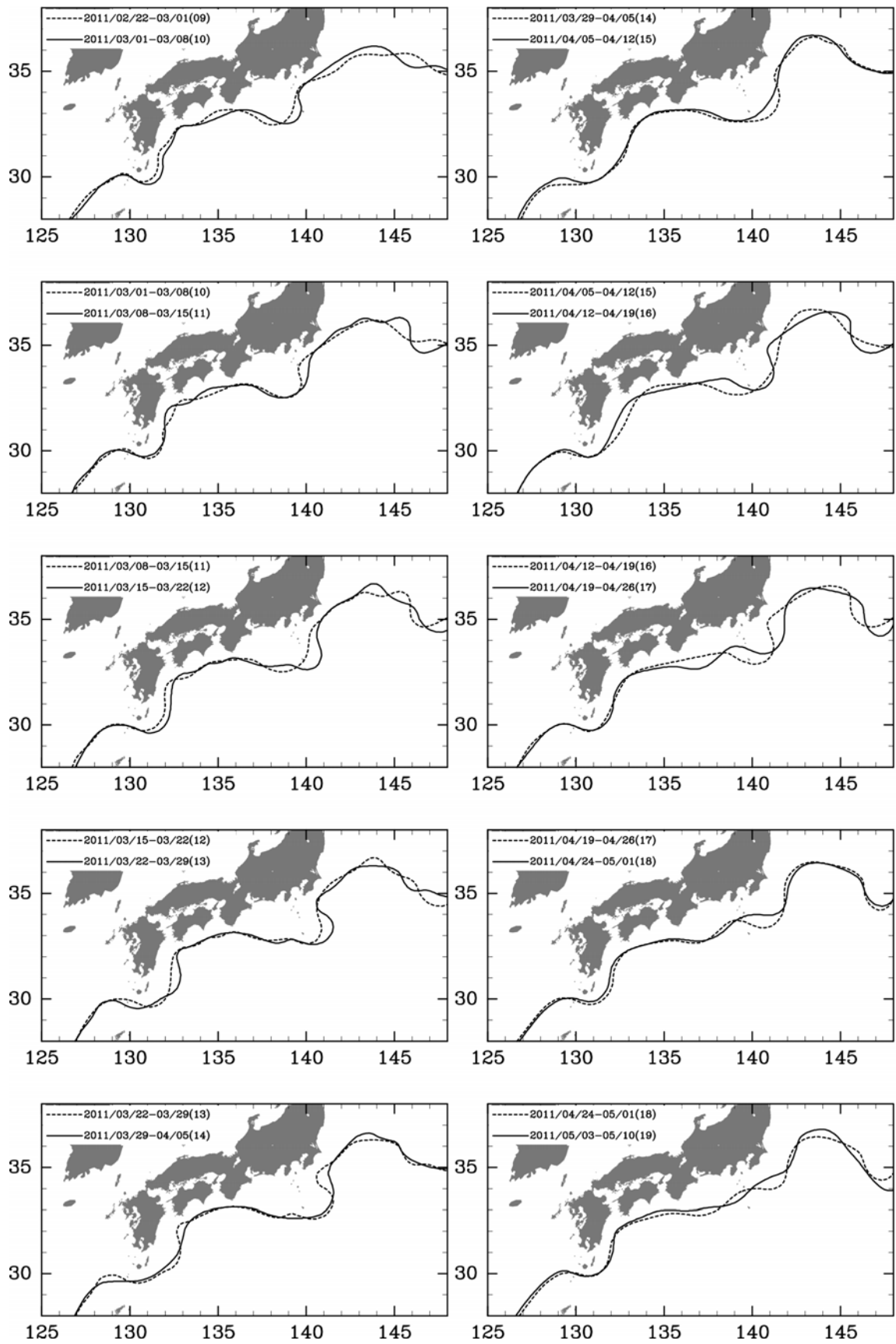


図2 (続き) 黒潮流軸のパターン

(2010年12月~2011年7月, 海上保安庁海洋情報部海洋速報より作成)

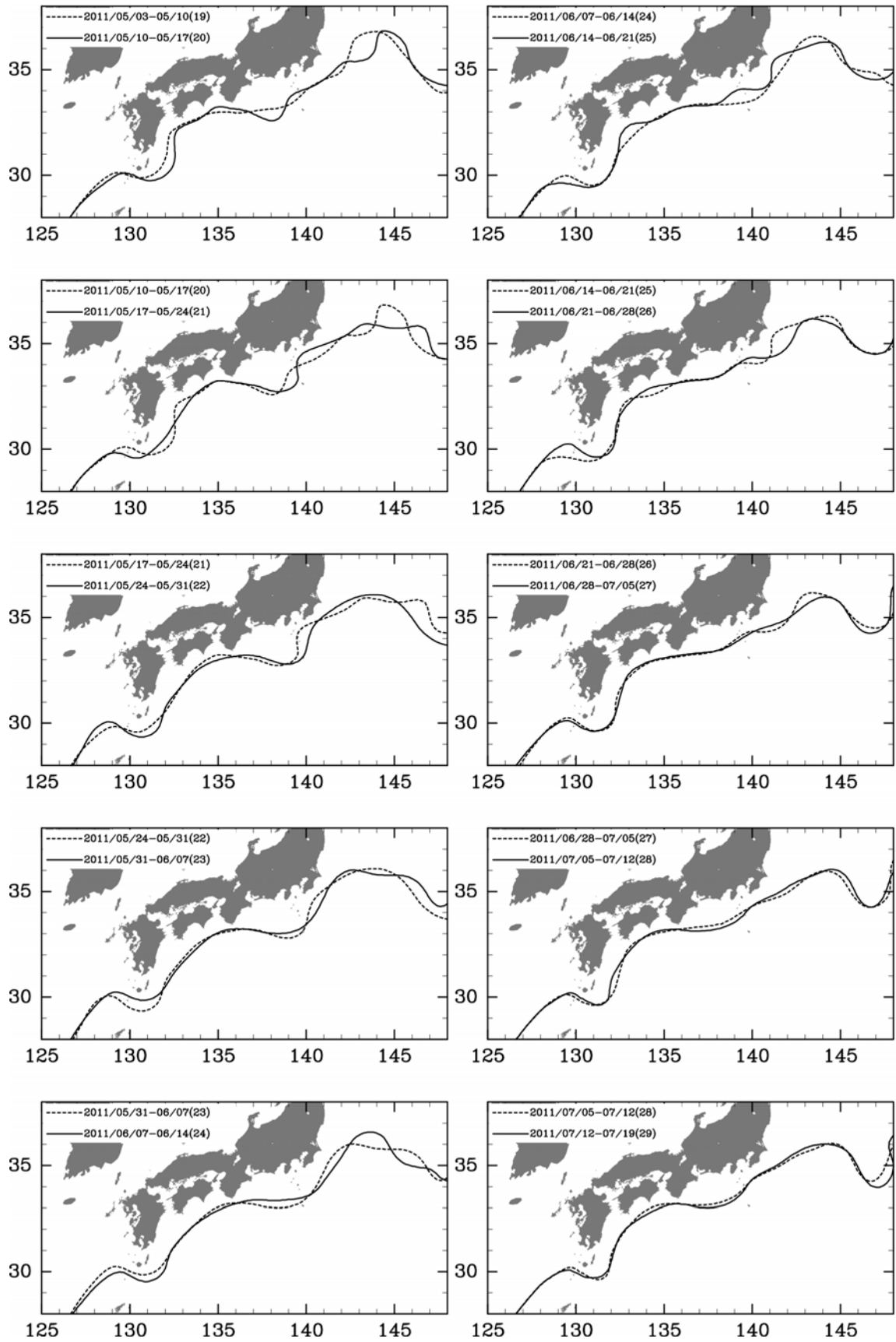


図2 (続き) 黒潮流軸のパターン

(2010年12月~2011年7月, 海上保安庁海洋情報部海洋速報より作成)

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場 函館水産試験場	徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究所
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	高知県水産試験場
岩手県水産技術センター	愛媛県農林水産研究所 水産研究センター 栽培資源研究所
宮城県水産技術総合センター	大分県農林水産研究指導センター 水産研究部
福島県水産試験場	宮崎県水産試験場
茨城県水産試験場	鹿児島県水産技術開発センター
千葉県水産総合研究センター	大阪府環境農林水産総合研究所 水産研究部 水産技術センター
東京都島しょ農林水産総合センター	香川県水産試験場
神奈川県水産技術センター	社団法人 漁業情報サービスセンター
静岡県水産技術研究所	水産庁 増殖推進部 漁場資源課
愛知県水産試験場 漁業生産研究所	独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所
三重県水産研究所	(取りまとめ機関)
和歌山県農林水産総合技術センター 水産試験場	独立行政法人 水産総合研究センター 中央水産研究所